



自立支援プログラムでもらった冊子には、計のやりくり、法律、保険などが簡潔にまとめられている。「今はお金を使う時間がなほど忙しい」と江里さんは話した=神戸市

心のよりどり

美容師を目指す江里さん(18)
『假名』の忙しい1日が始まる。

容チーンは以前から施設とも交流があり、寮代も特別に配慮しているという。

その手を握りしめよ

第3部 巣立ち、その後④

ぶ。時計の針が日付を超える
日も珍しくない。

「立ちっぱなしで、しゃべり
くて、こんなはずじゃって思
つた」ともあつたけど…。絶
対に美容師になりたいから」

神戸市内の児童養護施設で
育ち、この春卒業した。美容
の専門学校へ進学するより
も、働きながら資格を目指す
道を選んだ。

不安や悩み聞いてほしい

児童養護施設を18歳で退所した子どもの69・5%（2010年度、厚生労働省）が就労している。その後について国は統計を持たず、施設関係者は危機感を募らせる。

◇

職場の人間関係がもとで、仕事を辞めてしまう。最初は施設に相談していたが、やがて消息が途絶える。「不用意な言葉で誤解され、孤立してしまう子も少なくない」と神戸真生塾（神戸市中央区）の富川和彦施設長（69）。施設から遠ざかる子どもたちにどうするのともできず、無力感にさいなまれてきた。

NPO法人エンジエルサボートセンター（東京）とライリップモリスジャパンなどは、施設や里親家庭の子どもとの自立支援プログラムを続けている。法律学習や調理実習などを受けると、1回ごとに家電を贈る。高校3年生にはある。

仕事を辞め、生活できなく
なった子どもを再び支援する
ほうすれば。富川さんは
うつと考えていた。

暴力防止のため
の研修会 27日
西宮市市民交流センター
(阪急西宮北口南東出口)
10時～16時半、
ご教諭や児童養護施設
職員、学童保育指導員ら幼
児期、学童期、思春期の子
どもの援助にあたる人を対
象に、「あなたが守る子ど
もの権利—アタッチメント
形成からみるしつけと体
罰」(二題)で西翠哲士さん

に臨んだ。

社会福祉法人「まほろば」（三木市）では、児童養護施設を退所した13人が菓子・パン製造部門で働いている。就労支援担当の中川敬悟さんは、「(49)は、問題を抱えていそうな職員がいれば、声掛け話を聞く。」「非があつたとしても、頭ごなしにしかりつけることはしない。具体的に言い聞かせないことで、彼らにも社会

意見集
幕意ご

連載へのご意見やご感想を募集しています。〒650-8571
(住所不要) 神戸新聞社文化生活部「その手を握りしめて」係へ。ファックス078・360・5512▽メールseikatu@kobe-np.co.jp

連載へのご意見やご感想を募集します。〒650-8571(不要)神戸新聞社活部「その手を抜いて」係へ。ファックス360-5512△メールu@kobe-np.co.jp

になるまで、住む場所と就労支援で守ってやれないか」
今年3月、神戸に開設した自立援助ホームは長年の思いが形になつたものだ。

西宮市市民交流センター
(阪急西宮北口南東出口すぐ)。教諭や児童養護施設職員、学童保育指導員ら幼稚期、学童期、思春期の子どもへの援助にあたる人を対象に、「あなたが守る子どもの権利—アタッチメント形成からみるしつけと体罰」と題して西澤哲(さとうじゅく)・山梨県立大教授(人間福祉学部)が話す。7350円(資料代込み)。先着60人。NPO法人CAPセンター・JAPAN&CO

イカナゴのくぎ煮がわが家に届くいつもの春。今年、ショウガを効かせた30年来の友からのくぎ煮は届かなかつた。

彼女は昨年急死してしまつた。20分ほど苦しみ、救急車の到着を前に逝つてしまつた。ご主人と彼女は、歴史が好きで休みにはよく旅をしていた。妻を失つた悲しさは深く、ご主人の声を聞くのもつらかつた。

彼女と私は忙しく、結婚後は会う機会は少なかつた。それでもくぎ煮は毎年届いた。彼女のご主人が退職し、わが家も夜雇ない生活から主人が解放され、「2組での

彼女

山やスキーリゾート前編

う知そゝよれ小畫季墓